



5/10 防災ヘリコプター、篠山で救助訓練
町消防本部が合同訓練実施



▲ヘリでのピックアップポイントまで約40分かけて下山し、無事に要救助者の搬送を完了した

町消防本部は年2回行う愛媛県防災航空隊との合同訓練の一環として、消防防災ヘリコプターによる山岳救助訓練を篠山で実施しました。訓練は、斜面を15~20メートル滑らし身動き困難となった登山者を救出するという想定で実施し、町消防本部から13人の隊員が参加しました。

訓練を振り返って増元貞紀^{さだのり}隊長は、「山岳救助という決して多くはない想定での訓練を実施し、資機材を十分に活用して時間内に要救助者を救出することができたことが自信につながりました。今回の訓練で得た成果や課題を日頃から頭に入れ、有事の際は救助に向かいたい」と話しました。

5/14 消防団員の献身的な活動に感謝を
令和5年度愛南町消防団入退団式・辞令交付式開催



▲新入団員13人のうち、この日出席した7人の新入団員は松岡増幸団長から辞令書を受け取った

令和5年度愛南町消防団入退団式・辞令交付式が行われ、各方面隊幹部や新入団員など約40人が出席しました。

一本松方面隊に新たに入団した濱田^{しん}槇さんは、「消防団員として自分の生まれ育った町に貢献できるよう頑張っていきたい」と抱負を述べました。

また、3月末日をもって退団した孝野^{かくや}覚也さん（勤続25年）と竹平^{みつゆき}満之さん（勤続20年）には、長年の活動に対し感謝状と記念品が贈られました。あつという間の消防団だったと振り返る2人は、「安全第一、そして団員同士の交流を深めて地域のために尽力してほしい」と新入団員へエールを送りました。

5/15 地域情報の発信に向けて
南海放送ラジオとPAL 協定締結



▲ご当地キャラクターなーしくんと協定書を手に記念撮影する大西康司社長と清水雅文町長

町と南海放送ラジオ（エフナン）は、地域情報発信のための連携・協力協定（通称「PAL協定」）を締結しました。協定式では、清水雅文^{まさふみ}町長と南海放送株式会社の大西康司^{こうじ}代表取締役社長が協定書にそれぞれ署名を行いました。

署名を終えた大西社長は、「先日、私も妻と愛南町を訪れ、町の魅力を再認識しました。これからもその魅力を発信していけるように協力していければと思います」と語りました。

町では、この協定を契機として南海放送との連携をより強め、お互いが持つ情報資源を最大限に活用して地域の発展と活性化のために協力していきます。

加えて、エフナンでは、協定の一環として7月10日(月)に「まるごと愛南DAY」を放送予定です。

河内晩柑『misho』トップセールス

町が愛媛県やJAえひめ南と連携して取り組んでいる町内産河内晩柑の欧州輸出事業で、欧州向けブランド名「misho」の販路拡大につなげようと、清水雅文町長が中村時広愛媛県知事とフランスに渡航し、現地でのトップセールスを行いました。

訪仏は、5月21日(日)から24日(水)までの2泊4日という強行スケジュールで行われましたが、滞在中には在フランス日本大使館訪問やmishoを使用した料理のデモンストレーションイベントのほか、世界最大を誇るフランス公営のランジス市場での輸出記念セレモニーへの出席など、清水町長は精力的に取り組みました。

今回のプロモーションを終えた清水町長は「認知度の向上と輸送問題や価格が当面の課題になるが、欧州での日本食人気や円安の影響で輸出が急速に拡大していることや、「ゆず」が現地の食文化に浸透している背景もあるため、需要は必ずある」と、課題を挙げながらも、今後の欧州での需要拡大に大きな期待を寄せて総括しました。



地域おこし協力隊 活動日記

夏だ!海だ!叶夢センターだ!

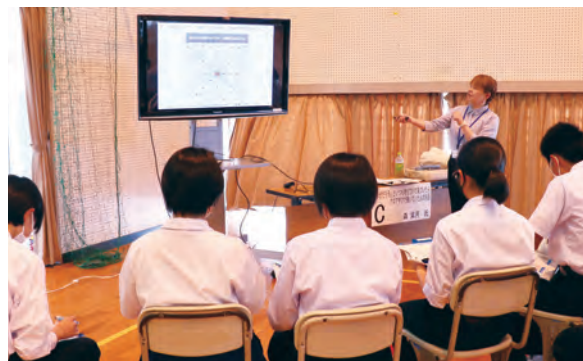
新年度を迎え、南光叶夢センターも新たなスタートを切りました!まずは強力な2人のスタッフを迎えましたので紹介します。

【森葉月】国際基督教大学で助手を務めた後、クロアチアのザグレブ大学で日本文化を教えていました。愛南町で、みかん山の愛らしさときれいな水、ひとの温かさに、心ときめく日々を送らせていただいています。クロアチア的「sve može (どんなことにも可能性はある、なんでもあり!)」精神を胸に、夢や目標に向かってがんばる生徒さんたちを応援します。

【松下雄吾】兵庫県姫路市に生まれ、東京で塾講師として勤務した経験から高校魅力化推進事業に興味を持ち、愛南町と出会って愛南町に来ました。星空がきれい、自然の豊かさが本当に素晴らしいです!!まずは自分が楽しみながら、愛南町で勉強の面白さを感じてもらえるよう、サポートしていきたいです!!

【新学期の南光叶夢センター】

新入生の登録も始まり、合計で69人の生徒が登録・活用をしています。3月に実施したアンケートでは、利用者の学習時間が平日で約55分、休日で



約63分増加していました。生徒のみなさんの頑張りには目を見張るものがあります。

数学、英語を中心にその他の教科まで幅広くサポートをしています。また今年度からは総合的な探究の時間、総合型選抜(一般入試とは違い、生徒が高校で深めた学びを書類や面接などでアピールする形式の入試)のサポートも実施しています。

【中学校との交流(キャリア講話)】

〇5月19日(金)内海中学校『DE・あ・い講演会』

〇5月26日(金)御荘中学校『社会と自分をつなぎ、未来を拓く～中学生へのメッセージ～』

これからも、南宇和高校を起点に愛南町の教育の魅力UPに貢献するために活動を行っていきますので、よろしくお願いします!